しもごう
下郷町議会だより

平成25年12月

第65号

■目次

■平成25年第3回定例会【9月】

24年度決算 …… 2～3
議案質疑のあらまし …… 4
意見書 …… 5
一般質問 …… 6～9

■平成25年第2回臨時会【7月】

5件の契約案件を可決 …… 10

■平成25年第3回臨時会【10月】

星學町長が初登壇 …… 11

■湯田雄二前町長を悼んで …… 12

錦秋の観音沼森林公園を楽しむ

今年は木々が色づく前の落葉が多く、紅葉の彩りはいまひとつでしたが、それでもたくさんの観光客やカメラマンが思い思いの秋を探してシャッターを切っていました。(10/31)

9月定例会

9月9日から13日にかけて、9月定例議会が開かれました。平成24年度決算の認定をはじめとする町提出議案8件、意見書提出の議員提出議案3件などを審議し、すべての議案を可決しました。一般質問には4名の議員が登壇し、町の考えをただしました。

◇各会計の平成24年度歳入歳出決算額

会計名		歳入	歳出	差引
一般会計		47億1856万円	44億4738万円	2億7118万円
特別会計	国民健康保険	10億5911万円	9億9017万円	6894万円
	後期高齢者医療	6745万円	6742万円	3万円
	介護保険	6億7224万円	6億5176万円	2048万円
	簡易水道事業	2億2879万円	2億2723万円	156万円
	農業集落排水事業	8592万円	8491万円	101万円
	宅地分譲事業	587万円	587万円	0円
合計		68億3794万円	64億7474万円	3億6320万円

決算の結果に対する監査委員の意見（要約）

【総括】

いずれの会計も決算額は関係諸帳簿等と合致しており、計数が正確であることを確認した。

【税の滞納解消を】

町民税・国保税が納期限までに納められず滞納されることは、税の公平性の観点から見過すことはできない。引き続き収入未済の実態把握に努め、督促や滞納処分とあわせて、法的対応の取組みを強化されたい。

【債権の適切管理を】

水道使用料、住宅使用料の滞納額は年々増加する傾向にある。中には相当年数の経過したものもあるので、債権の適切な管理処分に努めていただきたい。

【入湯税の使途の説明を】

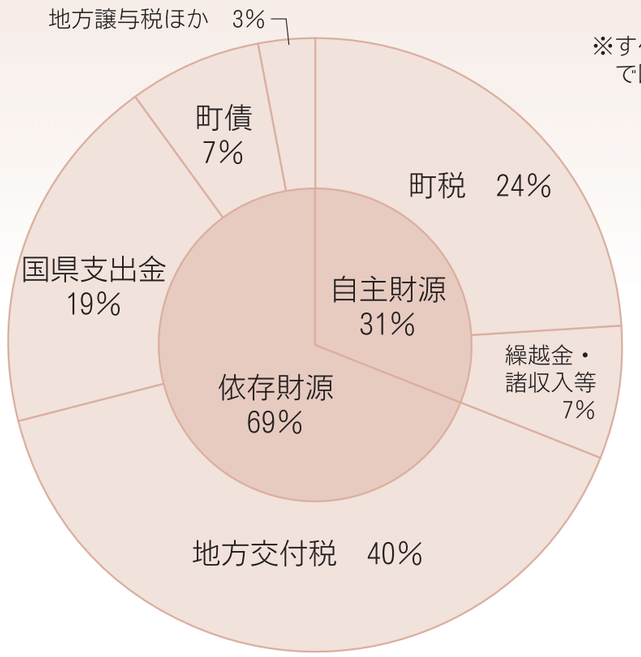
入湯税は、地方税法により環境衛生施設や消防施設、観光振興等に充てることになっているため、その使い道は納税者に対し説明する責任があると考える。事務報告書への記載など、何らかの方法で使途の説明をすべき。

【特定健診の受診率向上を】

特定健康診査事業の受診率が目標に達していない。目標受診率、保健指導実施率の達成に向け、推進啓蒙に努めていただきたい。

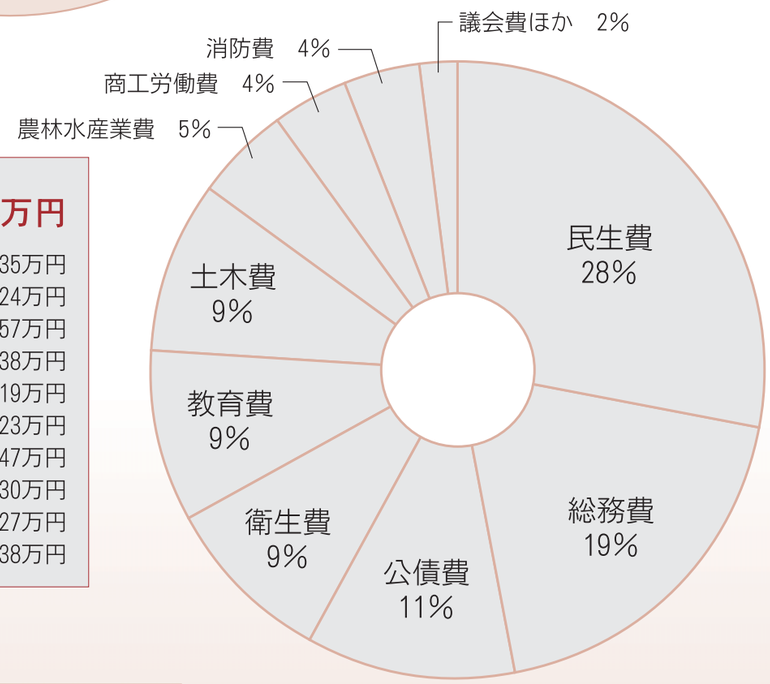
平成24年度 一般会計歳出総額 44億円の成果を認定

※すべての金額は、読みやすくするため千の位で四捨五入し、一部端数を調整しています。



歳入 47億1856万円

町税	11億3489万円
繰越金・諸収入等	3億1151万円
地方交付税	18億7559万円
国県支出金	9億1555万円
町債	3億1279万円
地方譲与税ほか	1億6823万円



歳出 44億4738万円

民生費	12億4935万円
総務費	8億2724万円
公債費	4億6457万円
衛生費	4億 938万円
教育費	3億9719万円
土木費	3億9623万円
農林水産業費	2億3447万円
消防費	1億8530万円
商工労働費	1億8927万円
議会費ほか	9438万円

残ったお金（歳入－歳出）

2億7118万円

25年度の特定の事業へ	191万円
基金へ積み立て	1億3500万円
25年度に繰り越し	1億3427万円

提出された議案

【町提出議案】
- 平成24年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定
- 財産（雇用促進住宅用地）の取得
- 一般会計補正予算
- 国民健康保険特別会計補正予算
- 後期高齢者医療特別会計補正予算
- 介護保険特別会計補正予算
- 簡易水道事業特別会計補正予算
- 農業集落排水事業特別会計補正予算

【議員提出議案】
- 「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書の提出
- 道州制導入に断固反対する意見書の提出
- TPP交渉に関する意見書の提出

平成24年度決算の質疑

▼古い滞納額に対する「決断」は

問 各種使用料や町税などの累計滞納額が毎年膨らみ続けている。徴収不能の滞納で古いものは、ある時期になったら切るといった決断も必要では。

答 滞納対策として夜間臨戸徴収や納税相談会などを行っており、財産調査の結果によっては差し押さえも実施しています。古い滞納については、内容を精査した上で不納欠損処分にするなどの方策を考えていきたいと思います。

▼鳥獣捕獲隊報奨金の充実を

問 昨年度から鳥獣捕獲隊報奨金として1頭5000円が支給されているが、写真を撮って衛生組合に行って、という現状の申請方法はもう少し簡素化していただき、さらには報奨金単価の増額を検討していただきたい。

答 よりスムーズな事務申請手続きと、金額についても隣接市町村等の動向を見ながら検討していきたいと考えています。

> ！ キーワード
> 「不納欠損処分」
>
> 税金や使用料などの徴収額が決定した後に、債務者が死亡して相続人もいない場合など、徴収の見込みが立たない特定の理由に該当した場合、その徴収する権利を放棄する処分のこと。
>
> また、徴収する権利を放棄する議案が可決された場合にも、それを根拠として行うことができる。

財産の取得の質疑

▼雇用促進住宅の概要は

問 どういう建物を建てる予定なのか。

答 現段階では単身世帯向け12戸、世帯用12戸の計24戸分の建物を予定しています。

問 基本的には進出企業の社宅代用ということで一般の方は入れないとの説明だが、これから本当に24世帯が埋まるだけの人が来るのか。

答 新規進出企業の従業員のうち5、6人はすでに来ているのですが、現在は旧田島町に住んでいるという話ですし、ある企業では東京のほうで採用して本町へ転勤させるという話もしています。㈱コトブキと㈱アレフでは新工場のため新規雇用するということで、ほとんどの部屋が埋まると考えています。

議員提出議案

3件の意見書提出を可決

▼全国森林環境税創設促進議員連盟からの要請に基づき、森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書の提出を可決しました。

▼福島県町村議会議長会からの要請に基づき、道州制の導入に断固反対する意見書の提出を可決しました。

▼会津みなみ農業協同組合（代表理事組合長　星安博）から提出された「TPP交渉に関する請願」について産業厚生常任委員会に付託し、慎重審議の結果採択されたことを受け、請願の主旨を踏まえた意見書の提出を可決しました。

件名	意見書の要旨	意見書の提出先
「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書	平成24年度の税制改正大綱において「地球温暖化対策に係る地方財源の確保・充実の仕組みについて、平成25年度実施に向けた成案を得るべくさらに検討を進める」と明記されたことに伴い、石油石炭税の税率の特例による税収の一定割合を、森林面積に応じて地方に譲与する仕組みを早急に構築することを要望してきたところであるが、本年度の税制改正大綱では「早急に総合的な検討を行う」との記載にとどまり、いまだ実現していないことから、改めて同様の仕組みを構築することを要望する。	衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 農林水産大臣 経済産業大臣 環境大臣
道州制の導入に断固反対する意見書	いわゆる道州制に関しては、与党が導入を目指す法案を提出する動きを見せており、また一部野党は「道州制への移行のための改革基本法案」を先の国会に提出しているが、これらの法案が可決されれば、事務権限の受け皿という名目のもと、ほとんどの町村において事実上の合併を余儀なくされるおそれが高い。また道州はもとより再編された「基礎自治体」は、現在の市町村や都道府県に比べて住民と行政との距離が格段に遠くなり、住民自治が衰退してしまうことは明らかである。 以上のことから、これまで町村が伝統・文化や郷土意識を守りながら住民とともに築き上げてきた「個性あるまちづくり」を否定し、効率性や経済性を優先して大規模な団体をつくりあげようとする道州制の導入に反対する。	衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 内閣官房長官 総務大臣（兼：地方分権改革担当大臣）
ＴＰＰ交渉に関する意見書	ＴＰＰ交渉が、食料自給率の向上や将来の農業経営の安定に悪影響をもたらすことはあってはならない。よって ①交渉方針の早期確立及び国民への開示 ②国内の利害関係者との相談・協議の枠組みの作成及び交渉戦略への反映 ③農林水産分野の重要５項目の聖域が確保できない場合の即時交渉脱退 などに取り組むことを要望する。	衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 外務大臣 農林水産大臣 経済産業大臣 内閣官房長官

町政

ここを問う

室井亜男議員の一般質問

質問

湯田町長の任期が残りわずか まだ執行していない事業は

答弁

おおむね発注済み 予算執行率の水準も高い

問 湯田町長のことを振り返るとき、環境衛生課長時代の町長が、我々議員を日暮滝のところまで連れて行き、「ここから林中まで水道を引きたい。おそらく10億円以上はかかると思う」と言ったときのことを思い出す。当時はとんでもないことを考える職員だなと思ったものだが、やがてこのアイデアは「統合簡易水道」として現実のものとなり、今も町民の暮らしを支えている。こんな話が、湯田町長の先見性を感じるエピソードとして私の心に残っている。

そんな湯田町長の任期も残りわずかとなったが、今年度予算でまだ執行していない事業などあったら教えていただきたい。また光ファイバー回線の導入に向けた進捗状況を伺いたい。

答 道の駅しもごうへの送水管設置だけが整い次第発注予定となっているほか、いくつかの事業を除いて大体発注済みとなっております。昨年同時期と比較した予算執行率も、例年になく高い水準にあります。

光ファイバー回線については、昨年本町とNTTが共同で行った「フレッツ光利用意向アンケート」の結果を踏まえ、NTTが下郷局・湯野上局内の光ファイバー網を整備することとなりました。こういったものは、町が設置費用を出して「公設民営」の形でやればすぐにでも設置することは可能ですが、その場合は後で莫大な維持管理費が町の負担として出てくることになるため、「民設民営」でのの整備を目指して今までNTTと交渉を重ねてきましたが、その成果がようやく実り、将来の維持管理費用を町が負担することなく光ファイバー網が町内に整備されることになります。10月にはNTTから正式発表がなされると思います。

任期満了を間近に控え、最後の壇上あいさつに臨む故 湯田雄二前町長
（最終ページに関連記事）

町政

ここを問う

猪股謙喜議員の一般質問

質問

湯田町政5つの政策の総括を

答弁

今後の課題については 次期町長に引き継いでいく

問 引退する湯田町長が今までに掲げてきた5つの政策に沿って、次の質問をする。

①健全財政の堅持に関し、財政調整基金が昨年度末に16億円に達している。実施する事業を絞りすぎた結果この額になったのでは。

②健康で活力あるまちづくりに関し、クラインガルテン事業では全ての区画の契約に成功したが、交流だけでなく定住に結び付けることは考えなかったのか。

また、元気な町づくり支援事業は集落の活性化に役立ったすばらしい事業だったが、集落によっては施設の維持管理に苦労しているところもある。小まめなフォローアップが必要だったのでは。

③安全・安心のまちづくりに関し、この安全・安心という言葉は単に所定の規格を満たしていることではなく、住民が安心できることを指すと私は考えるが、町長の考える安全・安心の意義を伺う。

④産業の振興に関し、倉橋地区の圃場整備の際、大川の取水口の改良の働きかけを県に継続的に行っていくべきではなかったか。

また、近年いくつかの企業等の誘致に成功しているが、既存企業に対する助成も必要ではなかったか。

また、プレミアム商品券発行の補助などの新たな施策以前は、商業への熱心さがあまり感じられなかった。特に小売業へのてこ入れがもっと早く必要だったのではないか。

⑤教育の充実に関しては、児童・生徒のためのきめ細やかな教育について学校・教育委員会・保護者・地域社会が話し合う機会をもっと増やすべきではなかったか。

答 ①本町のような小規模自治体では、継続した行政サービスの提供には一定の積立額が必要と認識しており、16億円という額が過大とは思っていません。効率的な予算執行の結果としてこの積立額があると考えます。

②クラインガルテンの入居者との交流という点では目的は十分達成されていると感じますが、今後は空き家情報の提供などの定住促進対策も必要と思います。

元気な町づくり支援事業については、行政区を主体に行う地域づくり事業に上限1000万円の交付を実施した事業でしたが、当初から初期投資費用への援助を目的としていたため、当事業による事業運営費用の助成は考えていません。ただ事業運営費用を助成する別の事業の紹介は必要と考えています。

③安全が継続的に確保されることにより、安心して暮らせる町として感じてくれるものと思っています。

④かつて倉橋堰取水口の災害復旧工事を行った際、工事の一部に南会津町長野集落から反対があったため、県でもなかなか着手しにくいのではと思いますが、引き続き改修の要望を行っていきます。

既存企業への助成については、今後も既存企業との情報交換をさらに深めるよう、次期町長に引き継ぎたいと思います。

小売業への対処については、産業の進展がなければ町の発展はあり得ないとの信念から、毎年500万円近くの補助金を町商工会に補助するなどしてきましたし、私の任期中には商業振興策をないがしろにした覚えも事実もありません。

⑤小学校・中学校が連携して子どもたちの総合力を高めようと始まった「四つ葉のクローバープラン」の実施状況などを見ていただければ、決して学校・教育委員会・保護者・地域社会が話し合う機会がなかったとは言えないのではないかと思います。

町政

ここを問う

星輝夫議員の一般質問

質問

元気なまちづくり支援事業の その後の状況は

答弁

各集落の地域資源として 今後も活用されることを願う

問　現任期限りで勇退する湯田町長が今までに行ってきた数々の施策の中でも、各行政区の特色を生かした地域づくり事業に上限1000万円の補助を行う「元気な町づくり支援事業」はとりわけ活力のある施策であった。

この事業を実施した行政区名と、その後の活動がどのように行われているかを伺う。

答　この事業は10の行政区で行われました。それぞれの実施内容及び現状は（別表）のとおりとなっています。

今後についても、地元の地域資源としてさらなる活用をしていただければと思っています。

（別表）元気な町づくり支援事業が行われた行政区と、イベント等の実施の現状

行政区	事業の内容	現状
小野	小野観音堂の山門の復元、参道の照明設置、石段の修復等	小野観音堂の祭礼を行っている。
三ツ井	桑取火集落のカタクリ群落の保護、遊歩道整備、バッタリ（水車）小屋の整備等	カタクリの開花時期にあわせ「カタクリまつり」を行っている。
戸赤	水車による「木地ろくろ」の整備、炭焼き窯の作業小屋等の整備、山桜観賞者のための駐車場の整備等	山桜の開花時期にあわせ「山桜まつり」を実施している。
倉水	高倉山湧水を活用した「長寿の水」周辺への水飲み場、あずまや等の整備等	「水祭り」と称して農産物の直売会を実施している。
沢入	南会津郡内唯一の「文殊菩薩堂」を活用するための石段、遊歩道、展望広場などの整備等	文殊菩薩堂の祭礼を実施している。
湯野上	中山風穴周辺における桜やアジサイの植栽、灯篭の設置、休憩所や案内板、足湯の整備等	湯野上温泉まつりやトレッキングなどのイベントを実施している。
楢原	区内の歴史ある施設をめぐる周遊コースを作成、案内板や説明版の設置等	ウォーキングイベント「歩こう！楢原の自然と歴史を探して」を実施している。
大松川	旧会津中街道（松川通り）周辺の名所旧跡の整備等	「松川街道ウォーキング」を実施している。
十文字	開拓入植記念堂、あずまや、駐車場及びトイレの整備等	地元野菜等を販売する「秋の大収穫祭」を実施している。
中山	ワラビ園「みなんぱら」として遊歩道や植栽の整備等	ワラビ・きのこ等の観光農園を運営するほか、小学生の森林学習の場にもなっている。

町政

ここを問う

佐藤盛雄議員の一般質問

質問

湯田町長の公約の達成度は

答弁

おおむね達成されている 残った課題は新町長のもとで

問　湯田町長への最後の一般質問に際し、第4次振興計画や過疎地域自立促進計画と立候補時の公約をあわせ、その達成度について伺う。

答　①財政健全化に関し、着実に町の借金を減らし、また職員数の適正化として35人削減したとのことだが、これらの数字は計画通り達成されたのか。

②健康で活力のある町づくりに関し、保育所への入所2人目以降無料化のほかに実施した施策は。

③産業の振興では、新たな企業の誘致に成功したことは評価に値するが、今後さらなる企業誘致を考える場合、企業団地の造成を視野に入れたビジョンを作成すべきでは。また、地域資源を生かした起業や農産物6次化のさらなる推進も図るべきでは。

④教育の充実では、4つ葉のクローバープランは児童の学力アップにつながったのか。

答　①町の借金の残高は計画を上回ってはいますが、財政健全化判断比率などから見て健全さが維持されています。職員数については集中改革プランで定めた22年度時点の計画103人に対して102人まで減らしましたので、計画は達成されたと考えます。

②妊婦健康診査の公費負担回数を2回から15回まで増やしたほか、平成22年4月からは中学生までの医療費無料化を行っています。

③企業誘致に必要なインフラ整備の必要性は強く感じています。ビジョン作成は新町長のもとで検討いただきたいと思います。

農産物6次化の推進については、今後TPPの関係で日本の農業政策が大きく様変わりすると予想されるため、避けて通れない課題と認識しています。

④全国学力調査が始まった平成19年度においては、本町小中学校は全国平均から水をあけられる結果でしたが、徐々に差を縮め、本年度は全教科で全国平均を上回った小学校もあると聞きます。4つ葉のクローバープランの総合力を高める授業というものが実となって表れはじめている結果と認識しています。

質問

未達成の公約等は

答弁

今後検討・交渉が進み、実現されることを確信している

問　未達成あるいは実行を断念した計画や公約も多々あるかと思うが、その中で新しい町長に何を託するのか。

①町の行政組織の見直しについてどのような望みを持っているか。

②光ケーブルの整備の見通しがついたとのことだが、町内各観光地にライブカメラなどを整備した場合の町の費用負担は。

③水の豊富な本町の特長を生かした「小水力発電」への取り組みに関する町長の希望は。

答　①現行の行政組織になってから8年が経過し、ある程度定着してはいると思いますが、わかりづらいという意見もあるので、新町長のもとで検討いただきたいと考えます。

②ライブカメラは設置数が多くなるほど費用が掛かりますが、5000万円以下に抑えたいとの考えで現在NTTと交渉しています。

③小水力発電に関する発電会社と協議中です。許認可手続きが膨大でなかなか難しいですが、実現できると確信しています。

7月臨時会

7月26日に臨時会が開かれました。
工事の請負契約や動産の買入れ契約の締結に際し議会の議決が必要となる案件に関する議案が5件提出され、すべてについて可決しました。

提出された議案

◆消防ポンプ自動車購入契約
第1分団第1部（塩生）のポンプ自動車購入。
◆消防ポンプ積載車購入契約
第3分団第5部（芦の原）のポンプ積載車購入。
◆重機車庫新築工事請負契約
旧ごみ処理センター跡地（中妻）に、除雪重機の車庫を新たに建設するための工事請負契約。
◆大川ふるさと公園コミュニティーセンター太陽光発電設備等設置工事請負契約
コミュニティーセンターの屋根に、災害発生時の非常電源とするための太陽光発電設備を設置する工事の請負契約。
◆下郷中学校校舎耐震補強工事請負契約
下郷中学校校舎と体育館の耐震工事請負契約。

▼消防車のタイヤはスタッドレスのみでよいのでは

問 今回の消防自動車の入にあたっては、普通タイヤとスタッドレスタイヤを両方購入しているのか。

答 車両には普通タイヤをつけて納入し、スタッドレスタイヤも合わせて納品してもらうことになっています。

問 消防車は年間の走行距離数が非常に少なく、一年中スタッドレスタイヤでも何ら問題はないと考える。タイヤ交換の手間もあるので、最初からスタッドレスタイヤのみで納入させることも今後は検討すべき。

▼冬期間の重機の格納は

問 重機車庫の工期が来年3月までとなっているが、今年度の冬期間は除雪重機をしまえない状態のまま野ざらしにしておくということか。

答 除雪期間中は、町直営の除雪用を除くすべての除雪重機は除雪委託業者のもとに行きます。
この車庫は、除雪重機を使わない時期に格納しておくためのものです。

▼コミュニティーセンターの太陽光発電の容量は

問 東日本大震災の教訓を生かし、防災拠点としての非常電源を賄うための設備ということだが、有事の際どのぐらい電気がもつのか。

答 体育館内や事務室の照明、テレビやパソコン、トイレ受水槽など、停電時に最低限必要な電力を見積もった場合で、6～7時間を想定しています。

▼中学校体育館が使えない間支障はないか

問 中学校体育館の耐震化工事の工期が来年1月までとなっているが、工事が完了するまでの間の体育の授業や部活動などに支障はないのか。

答 体育館の内部を工事しますので、工事は支障なしにはできません。工事中は体育館を使えないということです。
体育の授業や部活動は、コミュニティーセンターや町民体育館で振り替えて実施することがすでに決定しています。

床一面に足場が張り巡らされた耐震工事中の下郷中体育館内部

10月臨時会

10月17日に臨時会が開かれました。
9月22日執行の下郷町長選挙で当選した星學町長が初登壇したこの議会では、教育委員会委員の任命に関する議案1件が提出されましたが、無記名投票の結果否決されました。

星學町長の初登壇時あいさつ

先の町長選挙におきましては、皆様をはじめ、町民各位の温かいご支持、激励を賜り、当選の栄誉を与えていただきましたことに対しまして、衷心より御礼を申し上げます。まことにありがとうございました。今後４年間町政を担うこととなりますが、１票の重みと責任の重大さに身の引き締まる思いであり、これは私の政策、公約に対する期待と受け止め、力の限り町政運営に取り組んでいく覚悟でございます。

すべての町民の幸せを実現することが、私たちに与えられた命題であり、地域の特色を生かし、活力ある町、安全・安心・健康で暮らせる住みよい町、思いやりのある教育と文化の町を目ざして、町づくりに取り組んでいきたいと思います。

まず、選挙戦で町民の皆様と約束した次の８つの公約を着実に実現していくことが、信頼される町政を築く第一歩になるものと確信しております。

一つ目は、小学校入学祝い金の３万円の補助。
二つ目は、小中学校給食費３分の１の補助。
三つ目は、高齢者定額予約タクシー事業の実施。
四つ目は、農林業機械等購入貸付育英制度の創設。
五つ目は、農産物納品手数料の減額や戸別価格補償制度の充実。
六つ目は、仮称でありますけれども、湯野上温泉会館の建設の取り組み。
七つ目は、企業立地団地計画の推進。
八つ目は、町長給与50％カット、とあります。

この厳しい時代を乗り切るためには、町民力、地域力を高めることが必要であり、全国に誇れる下郷町をつくるため、情熱と誠意をもって、謙虚かつ大胆に町政運営に取り組む覚悟でありますので、皆様方のご協力をぜひお願い申し上げます。

星學町長のはつらつとした初登庁（9／30）

提出された議案

◆教育委員会委員の任命
教育委員のうちの1名が任期満了となることから、新たな委員を任命するもの。
（議員からの要求による無記名投票の結果、賛成5・反対6の賛成少数で否決）

下郷町議会だより
発行：福島県南会津郡下郷町議会
編集：議会広報編集特別委員会

謹んでお悔やみ申し上げます

― 湯田雄二前町長を悼んで ―

本年6月定例会における一般質問への答弁で正式に町長職からの引退を表明し、9月29日に行われた退任式を最後に3期12年の任期を全うされた湯田雄二前町長は、引退からわずか1カ月後の10月31日夜、搬送先の病院において薬石効なく帰らぬ人となりました。

湯田氏は昭和40年に町職員となり、議会事務局長を最後に町職員を辞職して平成13年の町長選で初当選。以来、本町の財政健全化や社会基盤の整備に多大な貢献をなされました。

議会事務局長時代は、議会の円滑な運営のために尽力されたほか、本誌「下郷町議会だより」の創刊に携わられ、平成9年12月発行の創刊号から平成13年8月発行の第16号までの編集を手掛け、現在発行されている議会だよりの礎を築かれました。当時の議会だよりに採用されていた「しもごう」の題字は自ら揮毫したものであり、さらに自らの趣味でもあった写真の腕前を存分に活かした迫力のある表紙は、毎号好評を博しておりました。

「今後は、体を大切にしながら農業に勤しみたい」と、9月定例会最後のあいさつで語っていた湯田氏。引退後の穏やかな日々を突然襲った訃報には驚きを隠せませんでした。

湯田氏のご冥福をお祈りいたします。

議会広報編集特別委員会
委員一同

議会を傍聴しませんか

町議会定例会は3月・6月・9月・12月に開かれます。
お問い合わせは町議会事務局（69－1123）まで

編集後記

湯田前町長が逝去されました。町長職を任期満了して一カ月後の訃報に大変驚きました。六十数億あった町の債務を三十九億まで圧縮し、企業誘致の成功、職員の定数削減、各集落の活性化など、数多くの成果を残されました▼以前、町長室で水道施設の銘板の原稿を筆で書いておられました。「俺が死んでもこの字は残るから」と、何枚も下書きされていました。湯田前町長の思い出の一つです。湯田氏のご冥福をお祈りいたします。

（猪股謙喜）

議会広報編集特別委員会

委員長	佐藤盛雄	
副委員長	猪股謙喜	
委員	小玉智和	
委員	佐藤勤	

〒969-5345　下郷町大字塩生字大石1000番地
E-mail：gikai_01@town.shimogo.fukushima.jp
TEL：0241－69－1123
FAX：0241－69－1167